

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	13-3																																							
PDCA	主要事業名	半田運河活性化推進事業	部課名	市民経済部観光課	担当 内線	濱田 328																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 1 単位施策： 観光 全体事業期間： 令和 5 年度 ~ 5 年度 全体事業費等： 15,011 千円 会計 一般会計 歳出科目： 06.01.04.02.57						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																							
	事業概要等	事業概要： 半田運河の景観や周辺観光施設、醸造の歴史・文化を活かしたイベントを充実させることにより、年間を通じた賑わいの創出を図る。飲食出店に加えて音楽・醸造・アート企画を中心とした新たなイベント「半田運河HOTORI HOLIDAY」の開催や、四季を感じる装飾（風鈴等）を半六庭園に設置し、写真映えするスポットを創出する「半田運河誘客スポット設置事業」を実施し、半田運河の魅力を発信する。 事業目的： 半田運河の景観や歴史・文化を活用したイベントを通して、半田運河の認知度の向上と、賑わいの創出を図る。 事業内容： 半田運河HOTORI brunch、HOTORI HOLIDAY、Canal Night、萬三の白モッコウバラ祭等のイベントの実施、鯉のぼりの設置、半六庭園への四季を感じる装飾の設置等 問題点・課題等： 新型コロナウイルス感染症対策の徹底、半田運河周辺の飲食店等との連携																																												
		予算額 15,011 千円 財源内訳 市費 10,820 千円 国費 千円 県費 千円 その他 4,191 千円																																												
		主要事業とする理由 歴史的景観、建造物や施設が残る半田運河周辺は、本市特有の観光資源であり、さらなる賑わいを創出するポテンシャルを有している。また、今後、JR半田駅の高架化や駅前土地区画整理事業の新しいまちづくりによる賑わいを創出するうえにおいても、半田運河の観光振興との連携は不可欠であるため。																																												
		得られる成果 半田運河の認知度・イメージの向上により、観光入込客数の増加による賑わいの創出やブランド力の向上を図ることができる。																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">半田運河周辺観光入込客数</td> <td>実績値</td> <td>144</td> <td>232</td> <td>—</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>430</td> <td>161</td> <td>307</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	半田運河周辺観光入込客数	実績値	144	232	—	千人	目標値	430	161	307	千人		実績値					目標値						実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
	半田運河周辺観光入込客数	実績値	144	232	—	千人																																								
		目標値	430	161	307	千人																																								
		実績値																																												
目標値																																														
	実績値																																													
	目標値																																													
D 実績得られた成果と	決算額 14,701 千円 財源内訳						評価項目（決算時に作成） 主要施策の成果報告書で活用																																							
	得られた成果 半田運河HOTORI HOLIDAYやCanal Night等の開催に加えて、新たに歴史的・文化的施設を活用した誘客スポットの創出等を行ったことにより、観光入込客数は目標値を上回り、広く市民や観光客に半田運河の魅力を発信することができた。																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">半田運河周辺観光入込客数</td> <td>実績値</td> <td>411</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>307</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							成果指標		令和5年度	単位	半田運河周辺観光入込客数	実績値	411	千人	目標値	307	千人																												
	成果指標		令和5年度	単位																																										
半田運河周辺観光入込客数	実績値	411	千人																																											
	目標値	307	千人																																											
C 課題の整理	B 既存のイベントである、春の半田運河の鯉のぼりと萬三の白モッコウバラ祭、夏のCanal Nightは、季節を感じる運河周辺イベントとして広く市民や観光客に定着しており、半田運河の知名度向上やブランド力向上に大きく寄与している。令和5年度は新たに、日常的な賑わい創出を目指す取り組みの一つとして、半六庭園内に風鈴棚を夏に1か月程度設置することで、来訪客の立ち寄り先として半田運河エリアの回遊促進に繋がり、また、写真映えスポットとして新たな客層の誘客にも繋がった。																																													
A 課題の解決方向性に向けた	拡充推進 イベントによる誘客や知名度向上だけでなく、日常的な半田運河周辺の賑わい創出のため、歴史的・文化的観光施設を活用しながら、新たな立ち寄り先の創出や回遊促進を目指す。また、名鉄知多半田駅・JR半田駅周辺における中心市街地活性化には、半田運河エリアの賑わいは不可欠であるため、JR高架事業や土地区画整理事業など周辺で行われている事業と連携するとともに、関係各所と協議を進め、新たな立ち寄りスポットの創出を目指していく。																																													
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ある	※手段の変更																																								
②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	—																																										
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																											